

購入時の チェックポイント②

価格

値段よりも、そのウィッグの特徴を理解して上手にアレンジし装着することで、自然な感じに仕上がります。値段にかかわらずきちんとしたものを選ぶようにしましょう。実際にウィッグを複数持っている人に聞いてみると、上手に装着すれば値段の高いものも比較的安いものでも、それほど見栄えに差はないようです。

【価格の妥当性】

価格は、作り方や毛質などによって大きく変わります。予算に合わせ、ご自身の考え方やライフスタイルにあったものを選ぶようにしましょう。

なお、既製品は1～10万円と比較的安く、フルオーダー品は30～80万円と高めになります。セミオーダー品は5～30万円となることが一般的なようです。

購入店舗

店舗によっては、販売以外にもさまざまなサービスを提供しているところもあるので、どのようなサービスが受けられるのかも重要なポイントになります。

【プライバシーが守れるかどうか】

併設した美容室で専門スタッフによるお手入れができるか、自宅・病院への訪問サービスがあるか、予約制かどうかなど確認しましょう。

【アフターサービスの充実度】

頭皮ケアなど脱毛対策全般のアドバイスや、脱毛の状態にあわせてサイズ調整が柔軟にできるサービス体制が整っているお店を選びましょう。

【仕上がりの日数】

治療開始に合わせて購入できるように、仕上がりの日数を確認しましょう。材質や種類、メーカーによって異なるので気を付けましょう。

記事担当:ウィッグマッププロジェクト

ウィッグの お手入れ方法

抗がん剤治療中は頭皮がデリケートになりがちです。ウィッグを清潔に保ちましょう。静電気や毛のもつれに留意しながら丁寧に扱うことで、美しく装うこともできます。専用のシャンプーやトリートメントで正しくシャンプーしてください。なお、ウィッグの毛質によってお手入れ方法が異なりますので、購入する際に以下のことを必ず確認しましょう。

- シャンプーの仕方(お湯の温度・洗い方・すすぎ方・水気の取り方など)
- 使用するシャンプー・トリートメントなど(毛質により異なります)
- 乾燥方法(ドライヤー使用可否、スタイルの整え方など)
- シャンプーの頻度
- 装着していない時の保管方法

付属の「取り扱い説明書」などをよく読んで、分からないことは、購入された販売店にお気軽に相談してください。

Q.ブラッシングはどの程度、必要ですか？

A.毛材や長さにより異なります。

間違ったブラッシングはウィッグを傷める原因になります。手ぐし程度で十分なこともあります。毛質によっては静電気が起こりやすいので、静電気防止スプレーをかけて、ふんわりと、ていねいなブラッシングが必要です。またロングヘアはからみやすいので、気を付けましょう。



Q.使用しないときは、どうすればいいですか？

A.型くずれやカールのとれを防ぐためにも、ウィッグスタンドを活用しましょう。



Q.お湯で洗ってもいいですか？

A.毛質により異なります。お湯の温度も重要です。

お湯で洗うと、カールが取れたり傷みの原因になることがあります。また、洗うときは、「もみ洗い」ではなく、「軽い押し洗い」をおすすめすることがほとんどです。購入する際に確認しましょう。

記事担当:フォンテーヌ/アデランス